

主要産地における令和6年度産水稲の生育状況等について 第10報 (令和6年7月18日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和6年7月18日)

Table with 4 columns: 道府県, 区分, 生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋), 技術・防除・気象等関連公表資料 (自自治体、気象庁等公表資料の抜粋), 令和6年度の品種構成の概況. Rows include 北海道, 青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島, 茨城, 栃木.

(生育状況等)			
千葉	<p>【生育概況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月20日に移植した「コシヒカリ」「新すけ」は6月20日頃、5月1日に移植した「コシヒカリ」は6月25日頃に幼穂形成期を迎えている。いずれの品種も幼穂形成期が年より3日程度早くまっている。</li> <li>・現在の「コシヒカリ」の生育は、草丈が年並みで、茎数がやや多く、5月1日植えは葉色がやや濃く推移している。</li> </ul> <p>(生育) (千葉県農林水産部 6月27日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月20日～8月19日】 関東甲信越地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ年並みの見込み。 (気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信越地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ年並みの見込み。 (気象庁)</p> <p>関東甲信越地方は7月22日頃からかなりの高温。 (気象庁)</p> <p>向こう1か月斑点米カメムシ、ツマグロコバエ類葉枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 7月10日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」「あきさかね」及び「あさかめ」を中心とする品種構成で、近年の品種構成となっており、令和2年度から新品種「新すけ」の本格栽培が開始</li> </ul>
新潟	<p>(7月10日現在の県内全域の生育概況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」では指標値に比べ、草丈は「長い」、茎数は「並」、葉数の進みは「やや早い」、葉色は「やや濃い」状況。</li> <li>・「新之助」では指標値に比べ、草丈は「長い」、茎数は「並」、葉数の進みは「並」、葉色は「濃い」状況。(新潟県農林水産部 7月11日付)</li> </ul> <p>(生育) (7月10日現在)</p> <p>(村 上) 「コシヒカリ」の出穂期は、幼穂確認状況から年より1日程度早い見込み。(村上農業普及指導センター 7月11日付)</p> <p>(魚 沼) 「コシヒカリ」の出穂期は年より2日程度早まる予想。(魚沼農業普及指導センター 7月11日付)</p> <p>(南魚沼) 「コシヒカリ」の出穂期は、年より2日程度早まる見込み。(南魚沼農業普及指導センター 7月10日付)</p> <p>(糸魚川) 「コシヒカリ」(指標値との比較) 草丈：並、茎数：やや少～並、葉数：やや早、葉色：やや淡～並。(糸魚川農業普及指導センター 7月10日付)</p> <p>(新潟) 「コシヒカリ」草丈が葉色濃い報告、出穂期は年より2日程度早まる見込み。(新潟農業普及指導センター 7月11日付)</p> <p>(新潟) 「コシヒカリ」指標値に比べ、草丈「やや遅」、茎数「並」、葉数「遅」、葉色「濃」。出穂期予想は8月10日で近年比やや早い。(新潟農業普及指導センター 7月11日付)</p> <p>(三 名) 「コシヒカリ」指標値比 草丈「長」、茎数「早」、葉色「濃」(三谷農業普及指導センター 7月10日付)</p> <p>(長 岡) 「コシヒカリ」草丈が長、茎数多く、葉色は濃い傾向。(ほづり農会) 出穂期は年並みで7月2日頃の見込み。(長岡農業普及指導センター 7月10日付)</p> <p>(十日町) 「コシヒカリ」生育状況は、草丈「長い」、茎数は「多い」、葉数の進みは「やや早い」、葉色は「濃い」。出穂期は前年並に早～なると予想される。(十日町農業普及指導センター 7月10日付)</p> <p>(上 越) 「コシヒカリ」「こいしな」ともに出穂期は年並みとなる見込み。「コシヒカリ」では、草丈は長く、葉色がやや濃く推移している。(上越農業普及指導センター 7月10日付)</p> <p>(佐 渡) 「コシヒカリ」霜干傾向が続いたため草丈が伸び、葉色は濃くほづり農会が大きい状況。出穂期は「年より2日程度早い」見込み。(佐渡農業普及指導センター 7月10日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月20日～8月19日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は年並みか多く、日照時間は年並みか少ない見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ年並みの見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は7月22日頃からかなりの高温。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 7月10日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」及び「こいしな」を中心とする品種構成で、近年「コシヒカリ」が減少し、収量率の高い「ゆきん子実」「ゆきあり」及び「みずほの輝き」が増加傾向にある。また、県では新品種「新之助」(晩生種)の作付拡大を推奨している。</li> </ul>
富山	<p>(7月16日 生育観測値)</p> <p>「てんたかく」・5月2日移植の「てんたかく」の出穂期は、近年より1日遅い7月16日と見込まれる。今後、年並みの気温で推移した場合、成熟期は8月20日頃と見込まれる。</p> <p>「コシヒカリ」・幼穂形成期は、年並みに比べ1日早い7月10日となった。今後、年並みの気温で推移した場合、出穂期は年並みに比べ1日早い7月31日頃と見込まれる。</p> <p>「てんこもり」・幼穂形成期は、年並みに比べ2日早い7月10日となった。今後、年並みの気温で推移した場合、出穂期は年並みに比べ2日早い8月1日頃と見込まれる。</p> <p>(生育) 「富富富」・幼穂形成期は、近年並の7月13日となった。今後、年並みの気温で推移した場合、出穂期は近年並の8月4日頃と見込まれる。</p> <p>(富山県農業技術課 7月16日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月20日～8月19日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は年並みか多く、日照時間は年並みか少ない見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ年並みの見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は7月22日頃からかなりの高温。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 7月10日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっており、近年高温多湿でも品質が安定している「てんたかく」及び「てんこもり」の作付が拡大している。「富富富」が増加傾向にある。</li> </ul>
石川		<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月20日～8月19日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は年並みか多く、日照時間は年並みか少ない見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ年並みの見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は7月22日頃からかなりの高温。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 7月10日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」及び「ゆきん子実」を中心とする品種構成であるが、近年、県オリジナル新品種の「ゆきん子実」が増加傾向にある。</li> </ul>
福井	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ハナエチゼン」の現地の幼穂形成期は年より3日早く、また高温では出穂までの期間が短くなる傾向があり、出穂も年より早くなる見込み。</li> <li>・早く移植したものは、既に出穂期となっている圃場もある。</li> <li>・早生品種以外の品種は、おおむね幼穂形成期を迎えている。</li> </ul> <p>(生育) (水田農業レベルアップ委員会技術普及推進部会 7月12日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月20日～8月19日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は年並みか多く、日照時間は年並みか少ない見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ年並みの見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は7月22日頃からかなりの高温。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 7月10日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」及び「ハナエチゼン」を中心とする品種構成であるが、近年、県オリジナル新品種の「ゆきん子実」が増加傾向にある。</li> </ul>
長野	<p>(7月13日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定点圃場の「あきたこまち」の幼穂形成期は7月2日で、年より4日早。また止葉の抽出が始まっている。「コシヒカリ」の幼穂形成期は7月11日で、年より5日早。</li> <li>・7月11日気象庁発表の1か月平均でも平均気温は高い確率70%で、期間の始めは気温がかなり高いと見込まれている。このため、今後の気温で年より2～3高温になるとして推定した結果、生育進捗は「あきたこまち」で年より4～6日早く、「コシヒカリ」で年より5～7日早く、出穂期は昨年並にかなり早まると予測された。</li> </ul> <p>(松本県農業農村支援センター 7月16日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月20日～8月19日】 関東甲信越地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ年並みの見込み。 (気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信越地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ年並みの見込み。 (気象庁)</p> <p>関東甲信越地方は7月22日頃からかなりの高温。 (気象庁)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県オリジナル品種「黒さやか」の導入を推進している。</li> </ul>
滋賀	<p>(農業技術指導センター 水稲作況調査 7月10日時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作況調査(5月10日移植)の「みずかがみ」「コシヒカリ」では、草丈は年並み～やや長く、茎数は年よりやや少なく、葉色は年並み～濃い。</li> <li>・幼穂形成期は、両品種とも年より1日早く「みずかがみ」では6月29日、「コシヒカリ」では7月2日。</li> <li>・出穂期は「みずかがみ」では7月22日頃、「コシヒカリ」では7月26日頃を迎える見込み。</li> <li>・県内全域では、移植日や播種条件による生育に差は見られるものの、概ね年並み～やや早く幼穂形成期を迎えている。</li> </ul> <p>(滋賀県農業技術指導センター 7月12日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月20日～8月19日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ年並みの見込み。 (気象庁大阪府気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は年並みが多い見込み。 (気象庁大阪府気象台)</p> <p>近畿地方は7月22日頃からかなりの高温。 (気象庁大阪府気象台)</p> <p>向こう1か月いもち病の発生が多いと予想される。(農林水産省 7月10日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」、「みずかがみ」及び「白田町」を中心とする品種構成である。近年、高温多湿に耐れた「みずかがみ」の作付が増進されている。</li> </ul>
兵庫	<p>(6月28日現在)</p> <p>【県北】「コシヒカリ」の草丈はやや高く、茎数はやや少なく、葉数の進捗は年並み。遅延では、草丈は高く、茎数はやや少なく、葉数の進捗は早い。</p> <p>【県南】草丈はやや高く、茎数は年並み。葉数の進捗はやや早い。</p> <p>(兵庫県農林水産部 7月8日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月20日～8月19日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ年並みの見込み。 (気象庁大阪府気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は年並みが多い見込み。 (気象庁大阪府気象台)</p> <p>近畿地方は7月22日頃からかなりの高温。 (気象庁大阪府気象台)</p> <p>向こう1か月いもち病の発生が多いと予想される。(農林水産省 7月10日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」、「ヒノヒカリ」、「キヌヒカリ」及び「白田町」を中心とする品種構成である。「きぬむすめ」の作付拡大を推進している。</li> </ul>
岡山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・稲早生種の生育は概ね年並みである。</li> </ul> <p>(岡山県 6月27日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月20日～8月19日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ年並みの見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は年並みが多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>中国地方は7月22日頃からかなりの高温。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>向こう1か月斑点米カメムシ、セジロウカの発生が多いと予想される。(農林水産省 7月10日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「アケボノ」、「きぬむすめ」、「コシヒカリ」、「あきたこまち」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。近年、「きぬむすめ」が増加傾向となっている。</li> </ul>
広島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月20日～8月19日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ年並みの見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は年並みが多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>中国地方は7月22日頃からかなりの高温。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>向こう1か月斑点米カメムシ、セジロウカの発生が多いと予想される。(農林水産省 7月10日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」、「あきさか」及び「せせり」を中心とする品種構成である。</li> </ul>

(生育状況等)			
愛 媛	<p>(7月17日現在)「ひめの涙」(愛媛県農林水産研究所内水田ほ場)</p> <p>・6月21日移植、移植後25日頃の茎数は18.0本/株で、昨年より少ない。</p> <p>(愛媛県農林水産研究所 7月17日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月20日～8月19日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>四国地方は7月22日頃からかなりの高温。 (気象庁高松地方気象台)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「ヒノヒカリ」から「にこまる」「ひめの涙」への品種変更が定着してきている。</p>
高 知	<p>(6月月報)</p> <p>【早期稲】 ・生育：茎 ・生育ステージは例年に比べやや遅いものの、草丈および分けつ数は概ね平年並で推移している。 ・出穂時期は稲早生品種で平年より1週間ほど早く、「コシヒカリ」では平年並～やや遅いと見込まれている。 ・出穂前のほ場において斑点米カメムシ類の発生が確認されており、斑点米等への影響が懸念される。</p> <p>(生育) 【普通稲】 ・生育：茎 ・概ね順調に生育している。 (高知県病害虫防除所 7月5日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月20日～8月19日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>四国地方は7月22日頃からかなりの高温。 (気象庁高松地方気象台)</p>	<p>・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。</p>
福 岡	<p>【早期水稲(夢つくし、コシヒカリ)】 ・田植え後、気温がやや高く経過したため、活着は順調で草丈・茎数は平年並。ウンカ類の発生は確認されていない。 ・4月下旬植えの出穂期は7月8日頃で、平年並の見込み。</p> <p>【普通水稲(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど)】 ・育苗期の天候は良好に経過しており、苗の生育は概ね順調。 ・現在、収穫後のほ場でも田植えが始まり、平坦地の「夢つくし」は6月上中旬、「元気つくし」は6月中下旬、「ヒノヒカリ」は6月下旬が最盛期となる見込み。</p> <p>(生育) (福岡県農業総合試験場 6月23日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月20日～8月19日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>九州北部地方は7月22日頃からかなりの高温。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>向こう1か月トビウカの発生が多いと予想される。 (農林水産省 7月10日付)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「元気つくし」が増加傾向となっている。県では「夢つくし」の拡大を推奨している。</p>
熊 本	<p>(6月中旬)</p> <p>【作物の生育状況】 ・早期水稲は穂ばらみ期、普通水稲は移植前後。</p> <p>(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 6月27日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月20日～8月19日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>九州南部地方は7月22日頃からかなりの高温。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>向こう1か月斑点米カメムシ、セジロウカの発生が多いと予想される。 (農林水産省 7月10日付)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「にこまる」を中心とする品種構成である。「にこまる」の普及は、より「みさき358」へとして取替いが年々拡大している。</p>
宮 崎	<p>(6月中旬)</p> <p>【作物の生育状況】 ・早期水稲は穂ばらみ期、普通水稲は移植前後。</p> <p>(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 6月27日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月20日～8月19日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>九州南部地方は7月22日頃からかなりの高温。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>向こう1か月斑点米カメムシ、セジロウカの発生が多いと予想される。 (農林水産省 7月10日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「みさき358」への作付誘導が進められている。</p>
鹿 児 島	<p>(6月中旬)</p> <p>【作物の生育状況】 ・早期水稲は穂ばらみ期、普通水稲は移植前後。</p> <p>(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 6月27日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月20日～8月19日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>九州南部地方は7月22日頃からかなりの高温。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>向こう1か月斑点米カメムシ、セジロウカの発生が多いと予想される。 (農林水産省 7月10日付)</p>	<p>・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。早期栽培では、収量水準の高い「なつほのか」への移行が急速に進んでいる。</p>

注1：鹿児島地方栽培体、鹿児島県等がホームページで公表している資料を本調査報告書で取り纏め。  
注2：生育状況等(農林水産省発表資料の抜粋)については令和8年7月18日12時時点での取り纏め。  
注3：夏新米は赤字で表した。

引用資料:

農作物の生育状況(7月1日現在)(北海道農政部 7月5日)、  
農作物生育状況(7月1日現在)(北海道空知総合振興局 7月5日)、  
農作物生育状況(7月1日現在)(北海道石狩総合振興局 7月5日)、  
農作物生育状況(7月1日現在)(北海道後志総合振興局 7月5日)、  
農作物の生育状況(7月1日現在)(北海道胆振総合振興局 7月5日)、  
農作物の生育状況(7月1日現在)(北海道渡島総合振興局 7月5日)、  
農作物の生育状況(7月1日現在)(北海道日高総合振興局 7月5日)、  
農作物の生育状況(7月1日現在)(北海道檜山総合振興局 7月5日)、  
農作物の生育状況(7月1日現在)(北海道上川総合振興局 7月5日)、  
農作物生育状況調査の概要(7月1日現在)(北海道留萌総合振興局 7月5日)、  
農作物の生育と農作業の進捗状況(7月1日現在)(北海道オホーツク総合振興局 7月5日)、  
水稲作況調査(7月10日現在の生育状況)(地独)青森県産業技術センター農林総合研究所 7月10日)、  
令和6年度岩手県内の水稲の生育概況(7月10日現在 速報)(岩手県農林水産部農業技術普及課 7月12日)、  
令和6年度水稲の生育状況について(7月10日現在)(宮城県 7月11日)、  
令和6年度仙南稲作情報(第4号)(宮城県大河原農業改良普及センター 7月12日)、  
令和6年度稲作情報第5号(宮城県亶理農業改良普及センター 7月11日)、  
仙台稲作情報2024(第5号)(宮城県仙台農業改良普及センター 7月11日)、  
登米地域の稲作通信第6号(宮城県登米農業改良普及センター 7月11日)、  
大崎稲作情報第6号(宮城県大崎農業改良普及センター 7月11日)、  
令和6年度美里地区の稲作情報第6号(宮城県美里農業改良センター 7月11日)、  
栗原の稲作通信令和6年度第6号(宮城県栗原農業改良普及センター 7月12日)、  
稲作情報vol.6(宮城県石巻農業改良普及センター 7月11日)、  
令和6年度気仙沼・南三陸稲作情報第6号(宮城県気仙沼農業改良普及センター 7月11日)、  
作況ニュース(第5号)(秋田県農林水産部 7月10日)、  
雪若丸 技術情報 No.6(やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部 山形県農林水産部農業技術環境課 7月10日)、  
米づくり技術情報 No.13(やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部 山形県農林水産部農業技術環境課 7月10日)、  
おいしい米づくり情報第10号(山形県庄内総合支庁農業技術普及課 7月11日)、  
東なおきたま米づくり情報No.9(山形県置賜総合支庁農業技術普及課 7月11日)、  
西おきたま米づくり情報No.9(山形県置賜総合支庁西置賜農業技術普及課 7月11日付)、  
稲作だより第8号(山形県村山総合支庁北村山農業技術普及課 7月11日付)  
主要な農作物の生育情報令和6年度第4号(令和6年7月10日現在)(福島県 7月17日)、  
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 7月9日)、  
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 7月12日)、  
水稲生育診断速報2024No.4(栃木県農政部経営技術課 7月11日)、  
水稲の生育状況と当面の対策第4報(千葉県農林水産部 6月27日)、  
水稲の生育状況と今後の管理対策(第5号)(新潟県農林水産部 7月11日)、  
R6岩船米生育速報(7月10日現在)(新潟県村上農業普及指導センター 7月11日)、  
令和6年度新発田地域水稲生育速報No.5(新潟県新発田農業普及指導センター 7月11日)、  
稲作速報No.5(新潟県新潟農業普及指導センター 7月10日)、  
新之助情報 No.2(新潟県新潟農業普及指導センター 7月11日)、  
FAX稲作情報No.7(新潟県三条農業普及指導センター 7月10日)、  
水稲生育速報(新潟県長岡農業普及指導センター 7月10日)、  
コシヒカリ生育情報第3号(新潟県魚沼農業普及指導センター 7月11日)、  
南魚沼産コシヒカリ生育速報No.5(7月10日調査)(新潟県南魚沼農業普及指導センター 7月10日)、  
十日町地域稲作生育速報(新潟県十日町農業普及指導センター十日町地域農業振興協議会魚沼米振興部会 7月10日)、  
令和6年度上越地域米コシヒカリ・こいぶき生育速報No.5(新潟県上越農業普及指導センター 7月10日)、  
令和6年度糸川川丸れる米づくりコシヒカリ生育情報No.5(新潟県糸川川農業普及指導センター 7月10日)、  
令和6年度稲作生育速報No.5(新潟県佐渡農業普及指導センター 7月10日)、  
TACS情報第8号(富山県 7月16日)、  
稲作情報No.12(水稲レベルアップ委員会技術普及推進部会 作成:福井県農業試験場、福井米戦略課、JA福井県中央会 7月12日)、  
令和6年度作物技術普及情報第13号(水稲の生育状況他について)(松本農業農村支援センター 7月16日)、  
令和6年度稲作生育診断情報No.3(滋賀県農業技術振興センター 7月12日)、  
令和6年度兵庫県農業気象技術情報第3号(7月情報)(兵庫県 7月8日)、  
令和6年度病害虫発生予報第4号(岡山県 6月27日)、  
2024年度「ひめの雫」の生育状況(愛媛県農林水産研究所 7月17日)、  
令和6年度病害虫発生予報6月月報(高知県病害虫防除所 7月5日)、  
主な農産物の生産状況(令和6年6月14日 専技情報より抜粋)(福岡県農林業総合試験場 6月23日)、  
令和6年度病害虫発生予報第3号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 6月27日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(7月18日札幌管区气象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(7月18日仙台管区气象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(7月18日气象台)、  
北陸地方こう1か月の天候の見通し(7月18日新潟地方气象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(7月18日大阪管区气象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(7月18日広島地方气象台)、  
四国地方こう1か月の天候の見通し(7月18日高松地方气象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(7月18日福岡管区气象台)、  
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(7月18日鹿児島地方气象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(6月25日札幌管区气象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(6月25日仙台管区气象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(6月25日气象台)、  
北陸地方こう3か月の天候の見通し(6月25日新潟地方气象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(6月25日大阪管区气象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(6月25日広島地方气象台)、  
四国地方こう3か月の天候の見通し(6月25日高松地方气象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(6月25日福岡管区气象台)、  
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(6月25日鹿児島地方气象台)、

早期天候情報(7月16日14時30分)(气象台)、

エルニーニョ監視速報(No.382)(气象台 7月10日)、

令和6年度病害虫発生予報第4号(農林水産省 7月10日)、  
令和6年度水稲の10a当たり平均収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月12日)